

款	衛生費	項	保健衛生費			
事業名	医療体制強化事業					
施 策 の 大 綱	2-4 保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり					
施 策 名	6 健康で生きがいのある生活を支える保健・医療の充実					
施 策 の 内 容	6 地域医療の充実					
H27決算額	70,000千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 70,000千円

【事業の概要】

地域医療の更なる充実を図るため、筑波大学から派遣されている教員を2人増員し、寄附講座の活動拠点である霞ヶ浦医療センター内に設置した「筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育ステーション」を「同センター」にすることで、本寄附講座の機能強化を図りました。

《寄附講座の概要》

- ・講 座 名 称 土浦市地域医療教育学講座
- ・寄附講座を置く組織 筑波大学大学院人間総合科学研究科
- ・期 間 平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
- ・拠 点 施 設
平成24～26年度 筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育ステーション
平成27～28年度 筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センター
- ・担 当 教 員 数
平成24～26年度 3名（教授2名、講師1名）
平成27～28年度 5名（教授3名、講師2名）
- ・教員配置診療科 呼吸器内科，整形外科，循環器内科，**麻酔科**，消化器内科
- ・1日の平均患者数



(単位：人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
入 院	141.7	167.5	175.4	171.2	172.1
外 来	293.2	373.6	419.6	453.3	492.4

【事業の成果】

寄附講座の機能を強化し、地域医療をさらに充実させたことにより、市民が安心・安全に暮らせる環境を整備することができました。

款	衛生費	項	環境衛生費			
事業名	市営斎場整備事業 《合併特例債事業》					
施 策 の 大 綱	2-6 人と環境にやさしい循環型社会づくり					
施 策 名	4 環境美化と環境衛生の推進					
施 策 の 内 容	2 市営斎場の整備					
H27決算額	412,485千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				391,000千円		21,485千円

【事業の概要】

新しく市営斎場を整備することにより、式場等の施設充実はもとより、公害防止設備を備えた火葬炉など、すべての利用者と環境に配慮した施設整備を図ります。

平成27年度は、火葬炉設備工事や太陽光発電設備工事等に着手しました。

[事業予定期間]

平成26年5月～平成29年3月

新施設供用開始予定：平成28年10月

[全体スケジュール]

工種	平成26年度	平成27年度	平成28年度
建築工事	←		→
火葬炉設備工事		←	→
外構工事			←→
県道交差点改良工事		←	→

[平成27年度分（平成26年度からの繰越分含む）]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	411,728	建築主体工事、排水整備工事
旅費等	253	旅費、有料道路使用料
役務費	455	計画変更手数料
補償金	34	電柱移転補償
事務費等	15	消耗品、図書購入
合 計	412,485	

[平成28年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	28,429	工事監理業務委託等（2件）（平成25～27年度分）
工事請負費	846,420	建築主体工事等（7件）（平成26・27年度分）
合 計	874,849	



新市営斎場完成予想鳥かん図



現場写真（平成28年3月22日撮影）

【事業の成果】

今後、火葬件数の増加が見込まれる斎場において、人生終えんの場にふさわしい、人と環境に配慮した施設整備を行うことで、利便性の向上に寄与します。

款	衛生費	項	清掃費			
事業名	プラスチック製容器包装分別収集事業／生ごみ分別収集事業					
施 策 の 大 綱	2-6 人と環境にやさしい循環型社会づくり					
施 策 名	3 ごみ処理の適正化とリサイクルの推進					
施 策 の 内 容	2 資源物のリサイクル推進の強化					
H27決算額	392,794千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 392,794千円

【事業の概要】

第2次ごみ処理基本計画の目標達成に向けた取組として、生ごみ及びプラスチック製容器包装の分別収集を市内全域で行い、ごみの減量化及びリサイクルを推進しました。また、生ごみについては、バイオマスタウン構想に基づき、資源物として有効に利活用しました。

〔平成27年度事業費〕

(単位：千円)

区分	事業費	概要
報酬	285	廃棄物減量等推進審議会委員報酬
需用費	8,408	減量化パンフレット、集積場看板購入代ほか
委託料	384,101	生ごみ・プラスチック製容器包装収集運搬、処理委託料
合計	392,794	

プラスチック製容器包装分別収集と併せて、生ごみ分別収集を市内全域で行ったことにより、ごみの減量化が進みました。

平成26年度末32,276kg → 平成27年度末30,000kg
ごみ減量化率 7.1%

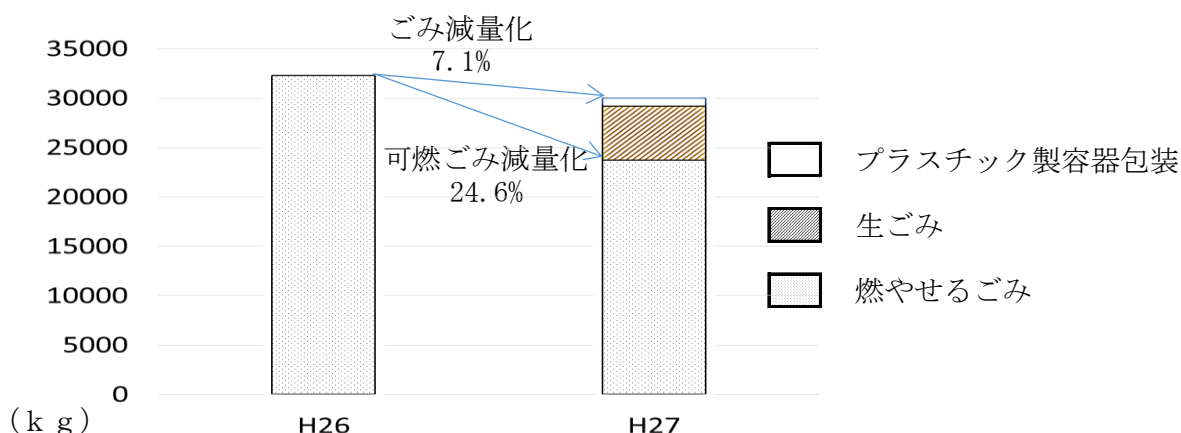
また、生ごみとプラスチック製容器包装がリサイクルに回ったことにより、可燃ごみの減量化も進み、焼却量の削減につながりました。

平成26年度末31,496kg → 平成27年度末23,738kg
可燃ごみ減量化率 24.6%



集積場の状況（生ごみ収集日）

市内全域での分別収集実施後の可燃ごみの変化（平成26年度と平成27年度の比較）



【事業の成果】

第2次ごみ処理基本計画の目標値達成に向けた取組として、モデル事業として実施していた生ごみ及びプラスチック製容器包装分別収集について、平成27年度からは市内全域で行い、更なるごみの減量化及び再資源化を図りました。

また、可燃ごみから分別することで、ごみ処理施設の負担軽減と温室効果ガスの削減につながりました。

款	衛生費	項	清掃費			
事業名	汚泥再生処理センター整備事業					
施 策 の 大 綱	2-6 人と環境にやさしい循環型社会づくり					
施 策 名	4 環境美化と環境衛生の推進					
施 策 の 内 容	1 衛生センターの整備					
H27決算額	1,728千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 1,728千円

【事業の概要】

老朽化した衛生センターを循環型社会形成推進交付金を活用して、現在処理しているし尿や浄化槽汚泥に加え、農業集落排水施設の汚泥を併せて処理し、処理に伴い発生する汚泥を助燃剤として再生資源とするための汚泥再生処理センターとして建て替えます。

[全体スケジュール]

工 種	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
循環型社会形成推進地域計画・生活排水処理基本計画	↔						
生活環境影響調査		↔					
地質調査		↔					
用地測量		↔					
施設整備基本計画			↔				
仕様書等作成委託				↔			
解体工事（建替）					↔		
建設工事						↔	
解体工事							↔

平成27年度は、循環型社会形成推進交付金を活用するため、循環型社会形成推進地域計画を策定し、合わせて、し尿や汚泥の処理方法等の基本方針を定める生活排水処理基本計画を策定しました。

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	1,728	土浦市循環型社会形成推進地域計画策定 土浦市生活排水処理基本計画策定



現在の衛生センター

【事業の成果】

し尿や浄化槽汚泥のみならず、その他の有機性廃棄物（農業集落排水施設汚泥）を含めて再生利用することで循環型社会形成の推進を図ります。

款	衛生費	項	清掃費			
事業名	ごみ焼却施設整備事業					
施 策 の 大 綱	2-6 人と環境にやさしい循環型社会づくり					
施 策 名	3 ごみ処理の適正化とリサイクルの推進					
施 策 の 内 容	7 施設の延命化対策					
H27決算額	39,726千円	財源内訳	国県支出金 9,947千円	地方債	その他	一般財源 29,779千円

【事業の概要】

清掃センター（ごみ焼却施設）は、平成4年4月の施設稼働後24年を経過し、経年劣化が進み機能の低下が見受けられるため、長寿命化計画に基づき、循環型社会形成推進交付金を活用して、基幹的施設更新工事を行い、平成48年までの延命化を図ります。

また、老朽化した設備・機器類の更新を行い、健全な施設運営を図ります。

◎ 基幹的施設更新工事 [工事予定期間]

平成27年9月～平成30年3月

[工事スケジュール]

工種	H27	H28	H29	H30
基幹的施設更新工事	実施設計	3号炉	2号炉	1号炉・粗大
基幹的施設更新工事に係る施工監理	←	←	←	←

[平成27年度分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
基幹的設備改良工事(焼却炉改修)	33,710	自動制御システムの一部(国庫補助分)
基幹的設備改良工事に係る施工監理	80	工事に伴う施工管理
事務費	93	製品検査に伴う旅費
合計	33,883	

[平成28年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
基幹的設備改良工事(焼却炉改修)	23,440	市単独工事分
基幹的設備改良工事に係る施工監理	60	市単独工事分に係る施工管理
合計	23,500	

◎ 清掃センターごみクレーンバケット更新工事 5,843 千円



清掃センター外観

【事業の成果】

基幹的設備の改良（焼却炉の高効率設備への改修）を実施することにより運転経費を抑え、施設の延命化を図るとともに温室効果ガスの削減を図ります。

款	衛生費	項	環境保全対策費			
事業名	地球温暖化対策推進事業					
施 策 の 大 綱	2-6 人と環境にやさしい循環型社会づくり					
施 策 名	1 持続可能な地球環境の保全					
施 策 の 内 容	4 エネルギー対策の推進					
H27決算額	17,781千円	財源内訳	国県支出金 1,231千円	地方債	その他	一般財源 16,550千円

【事業の概要】

土浦市地球温暖化防止行動計画（平成22年度～平成31年度）に基づき、市内区域から排出される温室効果ガスの削減に向け、市民・事業者・行政の各主体が自発的に取り組むとともに、協働・連携し、施策の推進を図ってきました。

平成26年度に見直しを行った上記計画を周知するため、概要版を全戸へ配布したほか、目的達成のため、公共施設への太陽熱温水器の設置およびエネルギー効率の悪いエアコンの更新を行いました。また、家庭への太陽光発電システム・高効率給湯器等購入補助を行い、再生可能エネルギーの普及拡大等を図りました。

（単位：千円）

区分	事業費	概要
住宅用環境配慮型設備導入補助事業	12,039	- 太陽光発電補助 157件 8,879千円 - 高効率給湯器等補助 158件 3,160千円
太陽熱温水器設置事業	1,240	神立消防署への設置 集熱パネル2枚（4㎡）
地球温暖化防止行動計画見直し対策事業	992	印刷製本費
省エネ法対策事業	3,510	省エネルギー型空調設備への更新 竹ノ入保育所エアコン 7台



太陽光発電システム



神立消防署太陽熱温水器

土浦市地球温暖化防止行動計画（改訂版）

水と緑 人と人の『環境』でつくる低炭素都市を目指して



平成27年3月
土 浦 市

土浦市地球温暖化防止行動計画

【事業の成果】

住宅用環境配慮型設備導入補助事業は、平成14年から開始し、平成27年度は、太陽光発電システムに対し157件、750.9kWに補助をしており、累計で1,307件、5,468.1kWとなります。これにより1,386,749kg-CO₂/年のCO₂を削減しています。また、高効率給湯器等は、平成27年度に158件の補助を実施し、累計618件に補助をしています。□

太陽熱温水器設置事業は、平成23年度から開始し、神立消防署で5施設目となり、計画の取組を推進しました。

款	衛生費	項	環境保全対策費			
事業名	自然環境調査事業					
施 策 の 大 綱	2-6 人と環境にやさしい循環型社会づくり					
施 策 名	2 恵まれた自然環境の保全					
施 策 の 内 容	1 自然環境の保全					
H27決算額	1,782千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
						1,782千円

【事業の概要】

平成14～15年度に行った自然環境実態調査から10年が経過しているため、新治地区を含めた全地域を平成26～28年度にかけて調査し、環境マップを作成します。

(単位：千円)

区分	事業費	概要
自然環境調査事業	1,782	五中・六中・都和地区の調査の実施 そのうち、チャレンジクラブの児童による調査を各地区2回実施

【調査方法】

- ・ 市民調査員…各地区のチャレンジクラブ及び各地区の市民委員会環境部・青少年育成部の部員
専門調査員…委託業者
- ・ 調査時期：夏・秋（年2回実施）
- ・ 調査指標生物：カエル類，貝類，トンボ類，水生植物
- ・ 調査年次：平成26年度・・・二中・四中地区
平成27年度・・・五中・六中・都和地区
平成28年度・・・一中・三中・新治地区（予定）
- ・ 成果品：報告書・・・比較調査資料
副読本・・・各小学校図書室，市立図書館・分館，公民館に配付



調査の様子

【事業の成果】

平成14・15年度との比較調査により，一部，都市開発等による自然環境と生態系の変化が確認されました。この調査を市内全地区で実施することにより，本市の生物等の基礎資料となります。

また，チャレンジクラブの児童及び市民委員会環境部・青少年育成部を調査員とし，身近な自然の環境教育を行うとともに，専門調査員による補足調査を実施し，環境マップを作成しました。この環境マップを学校等で活用することにより，環境学習に寄与します。